

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 7 月 1 日

事業名称		狭山公民館事業費 [狭山公民館事業]										
予算科目	款	10	教育費	項	4	社会教育費	目	2	公民館費	事業番号	3	
事業の種別	☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	中央公民館 課 狭山公民館					係	課長名		佐伯芳幸			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1-2・5-3			
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立								総合計画書 (ページ)	35・110			
1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	市民					湖畔、高木、狭山、清水地区に居住する市民の数（平成31年4月1日現在） → 公民館利用は地域制限はないが、近隣住民の人数とした。						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
	地域で、学習の場に参加できる。					→ ①公民館主催事業参加者 → ②公民館施設利用者（公民館主催事業参加者を除く） ③定期利用グループ数（令和2年3月31日現在）						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）						
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤狭山公民館だよりの発行					①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数 → ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤狭山公民館だよりの発行回数						
			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標				
3 経費	対象指標	①の数値	人	15,465	15,414	15,244						
	成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	① 2,045 ② 13,146 ③ 50	① 1,723 ② 14,749 ③ 51	① 1,455 ② 14,564 ③ 56						
	目 標	②の目標値										
	目標値設定の考え方											
4 環境変化等	活動指標	③の数値	①回 ②回 ③回 ④% ⑤回	① 24 ② 28 ③ 2 ④ 43.29 ⑤ 3	① 22 ② 27 ③ 2 ④ 46.95 ⑤ 3	① 22 ② 22 ③ 2 ④ 54.02 ⑤ 3						
	事業費（実績）		円	17,281,205	16,362,662	12,879,272	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円	17,170,915	16,231,522	12,756,452						
		特定財源	円	110,290	131,140	122,820						
人件費（目安）	(うち受益者負担)	円	110,290	131,140	122,820							
	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0							
	所要人数(再任用)	人										
職員人件費(再任用以外)		円	16,506,000	16,488,000	16,620,000							
職員人件費(再任用)		円										
事業費+人件費		円	33,787,205	32,850,662	29,499,272							
4 環境変化等	(1) 開始年度		51 年度									
	(2) 環境の変化											
利用者の高齢化。 施設の貸出について、インターネット予約を平成27年10月から開始した。												

事業名称	狭山公民館事業費 [狭山公民館事業]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	狭山公民館	係 課長名 佐伯芳幸

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 施設予約について、平成27年10月にシステムを導入したことにより、当初はインターネットに不慣れな高齢者から操作に対する不安が多数寄せられたが、最近は皆慣れてきたようであり不安の声を聞かなくなった。また、調整会議を廃止したことにより、利用者同士が顔を合わせる機会がなくなり、コミュニケーションの低下を心配する声もあったが、利用者連絡会の館外・館内研修やまつり、グループ活動講習会などで大勢の参加者を集め、情報交換をすることでカバーしている。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ ☐ 取り組まない	取組手法：①②⑤⑥（市報・市HP・フェイスブック・ツイッター・こうみんかんだより・地区館だより）（		
		【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点 日ごろから利用者とのコミュニケーションを図り、互いの信頼関係を築いていくことが、さらに適した協働の形態とするために大切			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	公民館利用率について、平成30年度は前年度を上回ったが狭山公民館は他館と比べ低い水準にある。これまで公民館を利用していた人たちの高齢化が進み、利用率減を招いている状況である。さらにレジャーが多様化される中、公民館に活動の場を求める人が減ってきている。公民館の存在意義の伝承や魅力のある公民館運営が求められている。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	他館と比べ低い水準にある利用率については、魅力のある事業の実施、積極的な会員募集やイベントのポスター掲示等のグループ活動支援を心がけ、平成31年度は9.07ポイント増加した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	公民館の存在意義の伝承や魅力のある公民館運営が求められている。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 ☐ なっている ☒ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 利用率を維持又は増加させるには、主催講座からの新たなグループ作りを支援するとともに、既存グループに対し会員を増やす取り組みも強化していくことが必要である。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 魅力のある事業を実施することで新たな公民館利用者を増やす方策を講じていく。			